



心豊かに社会を生き抜く力を持った子どもに成長するために
3つの合言葉で、
子どもたちの成長を
支えていきます。



第1回学校保健委員会

テーマ;「心の変化を察知して大切にしよう」

学校保健委員会とは、児童の心身の健康についての問題を研究・協議し、子どもたちが生涯を通じて心身共に健康で安全な生活を送る力を身に付けるための会です。第1回目の学校保健委員会を7月14日(金)に開催しました。

健康委員会の皆さんが、テーマ決めからアンケート調査、集計・分析、そして会の進行まで主体的に取り組んでいました。アンケートの結果やスクールカウンセラーの嶋村先生の話、グループワークを通して、自分の心を見つめ、他者の心も理解し、互いの心を受け入れることの大切さを学んでいたように感じました。



スクールカウンセラー嶋村先生の話をお聴きする子どもたち



グループワークの様子

※この暑さの中、空調設備がないところで汗をかきながら子どもたちのために頑張っている職員がいます。



草刈り中の学校主事の先生



野菜を切っている給食の先生

夏休み前の1週間、教室の中は、暑さとの戦いだったように記憶しています。ノートに文字を書こうとすると、汗で手にノートがくっつき、紙がふやけていたことを思い出します。今は、学習環境が改善され、空調の整った教室で、汗をかくことなく、学習に取り組むことができます。



シートに文字をスラスラ

さあ、夏休みです すてきな体験を

よく、近くの市民プールに出かけていました。お盆には、母方の里に行き、朝早くから蝉取りに明け暮れていました。夏まつりには、花火や金魚すくいを楽しみました・・・これらは、昭和50年頃、私の子ども時代の夏休みの思い出です。

今の子どもたちの思い出と言ったら、どんなことでしょうか。クーラーでキンキンに冷えた部屋でゲームを楽しむ、、と答える子どももいるかも知れませんが。

社会の様子や環境は変化しています。それに伴い、子どもの夏休みの過ごし方にも変化があると思います。しかし、願うことは、健康な夏休みを送ること、そして、将来大人になった時に「夏休みの思い出」を懐かしむことができるような体験を数多くすることです。

「外で元気に遊んでおいで！」と、簡単には言えない夏です。

健康管理が自分でできるようにご家庭で話し合ってください。

- 1 戸外では、必ず帽子をかぶる。
- 2 30分遊んだら、10分は日かげで休息をし、水分補給をする。
- 3 自分や友だちの体調が悪くなら、すぐに日陰で水分をとり、体を冷やす方法を考える。大人に連絡をする。
- 4 生活のリズムを崩さないようにする。
- 5 タブレットやスマートフォンなどの使用は、時間を決めるなど、目や心、体の健康を害さない使い方を親子で話し合う。



学校だより、第1回学校保健委員会、子どもたちの様子等、学校HPでは、カラーで見ることができます。